

静岡県教育委員会

議事録

平成 30 年度 第 16 回定例
1 月 9 日（水）

静岡県教育委員会教育長 木苗直秀は、

平成 31 年 1 月 9 日に教育委員会第 16 回定例会を招集した。

| | | | | |
|---|------|---|----|-----------|
| 1 | 開催日時 | 平成 31 年 1 月 9 日 (水) | 開会 | 13 時 30 分 |
| | | | 閉会 | 14 時 10 分 |
| 2 | 会 場 | 教育委員会議室 | | |
| 3 | 出席者 | 教 育 長 木 苗 直 秀 委 員 渡 邊 靖 乃 委 員 藤 井 明 委 員 加 藤 百 合 子 委 員 伊 東 幸 宏 | | |

| | | |
|-----------|-----------|------------|
| 事務局 (説明員) | 鈴 木 一 吉 | 教育部長 |
| | 松 井 和 子 | 教育監 |
| | 渋谷 浩 史 | 理事 (総括担当) |
| | 赤 石 達 彦 | 理事兼社会教育課長 |
| | 若 月 伸 隆 | 教育総務課長 |
| | 赤 堀 健 之 | 教育政策課長 |
| | 木 野 雅 弘 | 財務課長 |
| | 須 山 智 佐 子 | 福利課長 |
| | 宮 崎 文 秀 | 義務教育課長 |
| | 小野田 裕 之 | 高校教育課長 |
| | 山 崎 勝 之 | 特別支援教育課長 |
| | 名 雪 元 | 健康体育課長 |
| | 中 川 好 広 | 文化財保護課長 |
| | 山 田 貞 己 | 静岡教育事務所長 |
| | 太 田 修 司 | 静岡西教育事務所長 |
| | 三 科 守 | 中央図書館長 |
| | 塩 崎 克 幸 | 総合教育センター所長 |

4 その他

- (1) 第 35 号議案は原案通り可決された。
- (2) 報告事項 1 は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、加藤委員にお願いする。

【非公開の決議】

教 育 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱いについて諮る。
第 35 号議案は人事案件であるため、非公開としたいと思うが、異議はないか。

全 委 員： 異議なし。

教 育 長： それでは第 35 号議案は非公開とする

報告事項 1 監査結果に関する報告

教 育 長： 報告事項 1 「監査結果に関する報告」について、木野財務課長より説明願う。

財 務 課 長： <報告事項についての説明>

教 育 長： 質疑等はあるか。

藤 井 委 員： 本題からは外れるが、e-ラーニングの研修に関して、過日の定例会で県庁の内部では e-ラーニングの研修はシステム上できないという回答が有った。県庁職員も同様に受講すべきであるとの指摘を行ったところ、今後対応を検討するということであったが、改善されたか。

理事（総括担当）： システム上、学校現場と同じものはやはり受講できないが、知事部局では、本庁で使用しているシステム上で受講可能な e-ラーニングの教材を置いているため、課長会議や定時退庁日のメールを通して、全職員に受講を促している。

藤 井 委 員： 改善した点は素晴らしいが、その改善で終わるのではなく、いずれは全員が学校現場と同じものを受講できるように工夫するべきである。

理事（総括担当）： 今月コンプライアンス委員会があるため、その場でもしっかりと報告する。

渡 邊 委 員： 技芸を磨く実学とコアスクールの取り組みについて評価されているのは喜ばしいことであるが、実施後の報告だけではなく、実学チャレンジフェスタ開催について広報を行い、機会があれば実際に見てもらおうことでより深い理解を促すといった働きかけを行うことが、今後重要であると思う。

教 育 長： 他に意見は無いか。

全 委 員： （特になし）

教 育 長： 報告事項 1 を了承する。

<非>第 35 号議案 平成 30 年度静岡県教育委員会優秀教職員表彰の決定

※ 非公開

教 育 長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。
これをもって、平成 30 年度第 16 回教育委員会定例会を閉会とする。